

令和2年度 学校教育診断票 結果について

【はじめに】

本年度も「幼児児童生徒」「保護者」「教職員」に対して学校教育診断票を用い、学校教育についてアンケートを行いました。

回収率については、幼児児童生徒用71%（対象53名、回収38通）、保護者用81%（対象56家庭、回収46通）、教職員用91%（対象89名、回収85通）でした。教職員用については昨年度よりも回収率が高くなりました。

なお、本書において「幼〇〇（数字）」とあるものは幼児児童生徒用の第〇〇問を意味し、「保〇〇」は保護者用、「教〇〇」は教職員用を意味します。

【特に高い項目】（3.4p以上）

幼6「障がいに応じて授業の内容や教え方などを工夫している。」（3.4pt）

幼15「地震や火事などが起こった時、どうしたらよいかを教えてもらっている。」（3.6pt）

保1「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。」（3.5pt）

保2「学校は教育方針をわかりやすく伝えている。」（3.5pt）

保3「学校は特色のある教育活動に取り組んでいる。」（3.5pt）

保4「学校は保護者のニーズを踏まえた教育活動に取り組んでいる。」（3.4pt）

保5「学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。」（3.4pt）

保7「教職員は子どもの学習状況や努力を適切に評価している。」（3.6pt）

保8「個別の教育支援計画・指導計画に基づいて学習を実施している。」（3.6pt）

保10「教職員は子どもの障がいについて理解している。」（3.5pt）

保11「教職員はいじめのない学習集団づくりに取り組んでいる。」（3.6pt）

保12「教職員はすべての教育活動において、子どもの人権を十分に尊重して指導にあたっている。」（3.6pt）

保13「学校は進路についてのニーズを懇談等で聞き取り、適切に情報を提供している。」（3.5pt）

保15「学校は子どもの発達段階や実態に応じて生命を大切に作る心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。」（3.5pt）

保16「学校は子どもの発達段階に応じて子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。」（3.5pt）

保18「学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」（3.5pt）

保20「学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。」（3.7pt）

保21「学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。」（3.6pt）

保22「学校では子どもに関するプライバシーが守られている。」（3.5pt）

教1「学校の教育活動や指導の内容について、幼児・児童・生徒の実態に合うように教職員で日常的に話し合っている。」（3.5pt）

教4「個別の教育支援計画・指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、計画・実施・評価・反省を適切に行うとともに、保護者への説明責任を果たしている。」

(3.4pt)

教25「幼児・児童・生徒の個人情報が適切に管理されている。」(3.4pt)

【大きく向上した項目】 (前年比+0.3p以上)

教 4「個別の教育支援計画・指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、計画・実施・評価・反省を適切に行うとともに、保護者への説明責任を果たしている。」(+0.4pt)

教21「校舎内は清掃が行きいている。また、施設・設備は日常的に点検や管理が行われ、整備や修繕が長期的な見通しに立って実施されている。」(+0.3pt)

教22「各教科の備品や教材教具、コンピュータ等のICT機器が適切に配置され、活用されている。」(+0.6pt)

教26「教育活動に必要な情報について、配布プリントや学校ホームページを活用し、幼児・児童・生徒・保護者や地域への周知・情報発信に努めている。」(+0.6pt)

【特に低い項目】 (2.0p以下)

幼 4「学校のホームページをよく見る。」(1.7p以下)

【大きく低下した項目】 (前年比-0.3p以下)

保17「学校は子どもがほかの学校の子どもたちと交流する機会を設けている。」(-0.3pt)

保24「この学校の授業参観や学校行事に参加している。」(-0.3pt)

教11「近隣の小・中・高等学校との校種間連携・交流の機会を設け、教育活動全般に生かしている。」(-0.3pt)